

第21回JR京都駅ビル大階段駆け上がり大会開催！！



出場した吹田保線区分会「チームごろ丸」

京の冬の風物詩

春闘勝利に向け盛大に開催

2月24日(土)2018春闘の前哨戦として、KBS京都主催・JR西労組共催のもと、第21回JR京都駅ビル大階段駆け上がり大会が今年も盛大に開催された。

今年も京都地本は、地元地本として、前日からの準備、当日のスタッフとして、のべ126名が大会の成功に向けて、裏方に徹し、ケガも無く、無事に大会を終了することが出来た。

大会当日は、天候にも恵まれ80チーム320名がエントリーし、健脚を競いあった。京都地本からは吹田保線区分会「チームごろ丸」が参加し春闘勝利に向け力強く駆け上がった。

●京都地本出場チーム
チームごろ丸(吹田保線区分会)

- 中村 悟朗
- 藪垣 智絵
- 仲田 啓悟
- 穂積 元太



例年好評である《豚汁・豚まん・お汁粉》のチャリティ販売に地本青女を中心に奮闘いただいた。折からの寒さと青女組合員の熱気で豚汁は、完売しご協力いただいた売上金は、全て京都障がい者スポーツ振興会に寄付された。

大会の成功に向け尽力いただいた皆様に改めて感謝の意を表するとともに、組合員全員の春闘勝利に向けた一層の団結を要請する！

※当日の様子は、
3月10日(土)
KBS京都にて
18時から放送予定♪

全組合員の参加で要求の実現へ

JR西労組第36回中央委員会

2月8日(木)、大阪リバーサイドホテルに於いて「JR西労組第36回中央委員会」が開催された。京都地本からは各級役員30余名が委員、傍聴で出席した。

京都地本を代表して、西岡書記長が熱い思いを中央本部へ届けた。発言内容は以下の通り。

●昨年12月11日のぞみ34号で発生させた重大インシデントについては新幹線だけでなく、自分たちの出来ることを考え京都地本としても信頼回復に向けて取り組んでいく。

●湖西線近江舞子駅除雪作業員触車死亡事故から10年が経過。風化させることがないよう取り組む。

●2月1日に新たな安全計画「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2022」が発表されたが、目標を達成することとはもちろんだが、そこに至るプロセスが重要だと考える。京都地本としてプロセスを大切にしながら目標達成に向けて一丸となって取り組む。

●SLについては、ベテランの先輩方が残っている間に若手社員を送らないと技術継承が出来なくなる。このままでは動態保存が出来なくなる為、本部のお力添えをお願いする。

●現場の需給については、非常に厳しいとの声が多く出ている。乗務員職場の特に車掌では、労働協約で勝ち取っていた短い短日数制度の活用が厳しいのではないかとの声が出ている。勝ち取った制度の使いやすしい環境の整備が必要だと考える。需給対策についての見解をお聞きしたい。

●京都エリアでは3月のダイヤ改正で総持寺駅の新駅開業、来年、京都鉄道博物館の最寄りの新駅開業や、奈良線の複線化など大型プロジェクトやCS・ES工事、ホーム柵の設置など今後も業務が多くなることが見込まれる。工事の平準化はもちろんのこと、心に余裕をもち、定められたルールや手順を守り業務が出来る環境づくりを構築するよう本社に強く申し入れて頂きたい。

●組織拡大については、原点に立ち返り世話役活動の充実、各級機関がコミュニケーションを図って取り組んでいく。

●政治については、今年7月に滋賀県知事選挙があり、まだ出馬は表明されていないが、出馬されれば三日月知事の再選に向けて京都地本一丸となって取り組む。(2月15日出馬表明) また、約1年後の統一地方選挙に梶原執行委員が、京都府議会選挙山科選挙区から立候補する決意を固めた。当選に向けて一丸となって取り組む。



発言する西岡書記長

JR西労組2018春闘方針

- ① 基準昇給の完全実施 (シニア・シニアリーダー)
- ② ベースアップ 3,000 円
- ③ 年間臨給 5.7 ヶ月
- ④ 55 歳以降の調整率廃止
- ⑤ エリア手当の改善
- ⑥ 扶養手当移行措置の改善
- ⑦ 割増賃金単価の増額
- ⑧ 基本給を社員と同額に、ペア 3,000 円
- ⑨ 精励手当を期末手当とし社員と同額に
- ⑩ 満了給付金の増額
- ⑪ 40 円の時給引き上げ、精励手当増額 (契約社員)

※この他、職務手当、福利厚生、その他賃金に関わる課題を45項目にまとめて要求する。